



～男性介護者のつどい～

～アロマクラフト～

～庄堺公園散策～

『介護者のつどい』は、介護の知識を深めたり、情報を交換したり、リラックス＆リフレッシュしたり、心がホッとするような、いろんなメニューで開催しています。

長浜市社会福祉協議会(嘱託職員)募集のお知らせ

詳しくは、長浜市社会福祉協議会 ホームページ <http://www.nagahama-shakyo.or.jp/>

長浜市社会福祉協議会

検索

または、10ページをご覧ください。

クリック

発行 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会

〒526-0037 滋賀県長浜市高田町 12 番 34 号 長浜市社会福祉センター内
TEL.0749-62-1804 (代) FAX.0749-64-2240



新役員紹介

今回役員の一部改選がありました。新しく役員になられた方を紹介いたします。

任期 平成25年5月31日

(順不同 敬称略)

理 事	武田 了久	宮川 和彦	伊藤 雅明		
評 議 員	川北 克彦	関谷 與史隆	水上 一美	角川 幸子	前田 初子
	澤田 紀子	廣田 滋	大谷 晶子	大野 道浩	

社会福祉協議会会費納入にご協力をお願いします。

社会福祉協議会は、子どもから高齢者・しょうがいのある人も誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指し、様々な地域福祉事業を推進しています。そのためには、市民の皆さま一人ひとりの支えが必要です。7月より地域福祉事業の財源となる社会福祉協議会会費を自治会、企業法人様等をお願いしております。皆さまのあたたかいご理解とご協力をお願いいたします。

■ 一般会費 1口 380円 ■ 特別会費 1口 3,000円

※税制上の優遇措置※

1. 個人の場合 (所得税法78条) 1万円以上の会費 (寄付金) から所得税の優遇措置が受けられます。
2. 法人の場合 (法人税法37条) 全額損金算入できます。

【問合せ先】長浜市社会福祉協議会

総務課 TEL 62-1806



子どもたちが地域のなかで豊かに育ち、高齢者やしょうがい者が安心・安全に暮らせる福祉のまちづくりの実現を目標に各事業を推進します。

お知らせ

平成24年4月16日より長浜市社会福祉協議会居宅介護支援事業所 (ケアマネ事業所) の拠点が一部変わりました。

長浜市社協 居宅介護支援事業所	➡	長浜市社協 北部居宅介護支援事業所 (北部福祉ステーション) 長浜市神照町288-1 電話 65-8271
長浜市社協 北部居宅介護支援事業所		
長浜市社協 びわ居宅介護支援事業所		
長浜市社協 東部居宅介護支援事業所	➡	長浜市社協 浅井居宅介護支援事業所 (浅井福祉センター) 長浜市内保町480-3 電話 74-8200
長浜市社協 浅井居宅介護支援事業所		
長浜市社協 虎姫居宅介護支援事業所		

長浜市社会福祉協議会では、昨年7月より経営改善会議を設置し、合併後の社会福祉協議会の経営のあり方について、検討を進めてきました。

介護事業については、居宅介護支援事業所、訪問介護事業所を各11か所の拠点で地域の身近な介護事業として事業を進めてきました。

しかし、一方で小さな事業所展開のため、サービス提供に不安定な面もありご迷惑をかけることもございました。

そこで今回は、6つの居宅介護支援事業所を北部福祉ステーション・浅井福祉センターへ集約し、サービス提供体制を強化すると共に、社会福祉協議会が培ったノウハウの共有を図り、これまで以上に質の高いサービス提供を目指してまいりますので、ご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

日本赤十字社社資募金へのご協力ありがとうございました。

日本赤十字社の活動は国境、人種、宗教、政治的対立など大きな障害を乗り越えて、災害援護活動、医療事業、血液事業、救急法・家庭看護法等の講習普及、奉仕団活動の推進、青少年赤十字の育成、社会福祉施設の運営など多岐にわたり活動を展開しています。

長浜市でも自治会や赤十字奉仕団の皆さまのご協力により、赤十字活動に必要な社資募金をいただくことができました。市民の皆さまの温かいご支援とご協力に心から感謝申し上げます。

日本赤十字社社資募金 収納結果
社資・寄付金 10,696,408 円
法人社資 860,000 円

8月～10月 社協イベントカレンダー

～しょうがい児者等交流事業・余暇支援事業～

しょうがい児者の日常生活の充実を図るとともに、その保護者の方々と地域のボランティアさんの交流を図ります。



事業名	開催日時		開催場所	備考
ほのぼのかけはし “サマーハウス”	8月 2日 (木)	10:00～	木之本福祉ステーション	人形劇（ボランティア赤ずきんちゃん） ネイルアート他
陶芸教室	8月 4日 (土)	9:30～	長浜市社会福祉センター	陶器づくり
ほのぼのかけはし “サマーハウス”	8月10日 (金)	10:00～	六荘公民館	お料理に挑戦！！ ミニチュア琵琶湖博物館がやってくる！
料理サロン	8月18日 (土)	9:30～	木之本福祉ステーション	“冷やし中華” 他調理を予定
ほのぼのかけはし “サマーハウス”	8月18日 (土)	10:30～	湖北福祉ステーション	バーベキュー、ビデオ観賞 他
ほのぼのかけはし “サマーハウス”	8月21日 (火)	10:00～	六荘公民館	お弁当を作ろう！ お話会（ボランティアてんとうむし） 他
料理サロン	9月15日 (土)	9:30～	木之本福祉ステーション	“さつま芋ご飯” 他調理を予定
陶芸教室	10月 6日 (土)	9:30～	長浜市社会福祉センター	陶器づくり
料理サロン	10月20日 (土)	9:30～	木之本福祉ステーション	“焼きそば” 他調理を予定

～在宅介護者のつどい～

介護に関する学習会や在宅介護者同士の交流の場を提供し、介護技術の向上や日常の不安やストレスを緩和し在宅介護者のリフレッシュを図ります。

→写真は6月15日（金）開催の北近江リゾートで開催した「アロマクラフト＆ランチ交流会」です。講師にサロン・ナチュールさんに来ていただき、お気に入りの香りを自宅で楽しめる香り作りを参加者の皆さんにさせていただき、その後はランチで交流していただきました。



内容	開催日時		開催場所	備考
介護学習、茶話会	8月 2日 (木)	13:30～	長浜北部福祉ステーション	講師：(株)ノーブレイク 中村真理氏 申込締切 7月30日
ぶどう狩り、 ランチバイキング	9月 3日 (月)	調整中	マキノピックランド グランドパークホテル	ピックランドでぶどう狩りとグランドパークホテルで昼食を予定しています。
調理実習と コーヒブレイク	9月 予定	調整中	浅井福祉センター	現在調整中です

～ボランティア事業～

内容	発行日	備考
広報誌「えくすてんど」発行	毎月15日発行	ボランティアの事業は、毎月発行の広報誌「えくすてんど」をご確認ください。
ボランティア活動に関する募集やイベントの詳細は8～9ページの「えくすてんど」にも記載がありますのでご確認ください。		



↑写真：おもちゃ図書館

～その他の事業～

事業名	開催日時		開催場所	備考
おもちゃ図書館（虎姫）	毎月第2・3水曜日	9:30～ 11:30	保健センター虎姫分室	おもちゃ遊びを通じて就学前のしょうがい児や幼児を対象に発達支援や保護者の交流を図ります。
おもちゃ図書館（木之本）	毎週月曜日	9:30～ 11:30	木之本福祉ステーション	
ワークキャンプ支援事業	8月25日（土）～28日（火）		余呉地区内	過疎による限界集落を学生ボランティア等の除草作業支援を行い、地域の活性化を図ります。



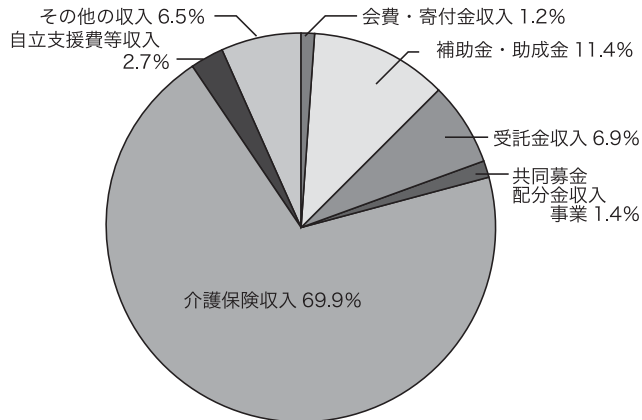
上記の事業は都合により日時等が変更されることもあります。また、事業によっては参加定員がありますので事業の内容等を含め詳しくは最寄りの長浜市社会福祉協議会の窓口までお問い合わせください。

【問合せ先】長浜市社会福祉協議会地域福祉課 TEL 62-1804（代表）

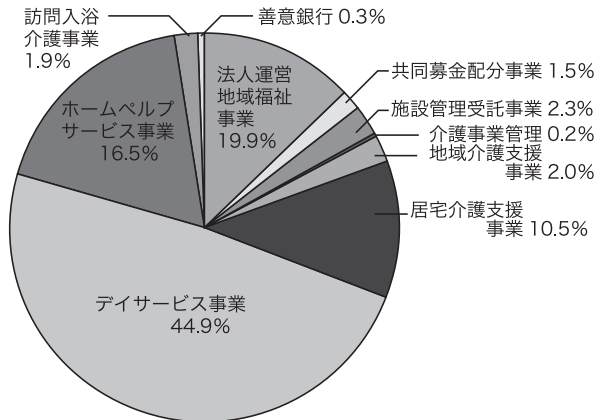
社会福祉法人 長浜社会福祉協議会

平成23年度 一般会計決算のあらまし

収入決算額 1,335,559,122 円



支出決算額 1,317,363,408 円



平成23年度 事業のあらまし

地域福祉活動支援

○地域福祉活動計画の策定

地域住民や福祉関係団体、ボランティア団体、当事者組織等が互いに連携し、地域福祉の進むべき方向性を共有して、地域福祉推進の役割を担っていくことを目的として、地域福祉活動計画のための地域懇談会や研修会を行いました。

- ☆地区懇談会 4回
- ☆アドバイザーとの協議 2回
- ☆職員研修会 1回

○地区社協支援事業

地域の実情に応じた福祉活動を推進する基幹的福祉団体である地区社協への支援を実施しました。

- ☆地区社協設置数 15地区

○福祉委員支援事業

地域の実情に応じた小地域福祉活動が地域で実践されることを目的として研修会を開催しました。

- ☆福祉委員研修会 5回

○地域での見守り活動の推進

見守りが必要な要援護者等が地域で安心して生活できるよう、

見守り支えあいの活動を推進しました。

- ☆避難支援・見守り支え合い制度の登録推進
- ☆災害支援研修会の開催

○災害支援活動ネットワーク事業

地域内の様々な組織・団体・企業等が協働し平時時から地域の防災・減災活動について円滑に取り組むことができる関係づくりを目指して、2地区で地域防災に関する研修・啓発・減災活動を行いました。



○ふれあい電話事業

ひとり暮らし高齢者等に対し、ボランティアによる電話での友愛活動や安否確認、生活相談を行いました。

- ☆電話件数延べ 1797件

○ふれあいサロン事業

地域住民がともにふれあえるサロン活動の支援を行い、地域の交流を深めるとともに、住民

の地域福祉に対する意識の向上に努めました。

- ☆助成団体数 137団体

○広報・啓発事業

福祉関係の情報や本会事業の取り組みを広報誌やホームページで紹介しました。

○福祉活動団体への支援

市内で活動する福祉団体に対して支援を行い、育成や活動の促進に努めました。

- ☆助成団体 6団体（8事業）

○歳末たすけあい運動

新たな年を迎える時期に、誰もが安心して暮らし、地域のたすけあいや支えあいの活動を行いました。

○しよつがい児者交流事業

地域でいきいきとした生活が送れるよう、社会参加と余暇支援を行いました。

- ☆療育レクリエーション
- ☆料理サロン
- ☆陶芸教室
- ☆しよつがい児者 保護者交流事業
- ☆おもちゃ図書館
- ☆元気クラブ

○在宅介護者のつどい事業

在宅介護者を対象に、介護技術の向上と精神的な負担軽減を図るために学習会や交流を行いました。

☆開催回数 12回

○ふれあい備品助成事業

自治会に対し地域福祉活動や交流事業等に必要な備品の整備を支援しました。

☆助成団体数 46自治会

○ふれあい用具貸出事業

地域の団体に対し必要な用具を貸し出し、地域交流等の増進に努めました。

☆貸出件数 985件

○福祉用具・介護用車両貸出事業

在宅での生活を支援するため、福祉用具の貸し出しを行いました。また、外出支援として介護車両の貸し出しを行いました。

☆福祉用具貸出 278回
☆福祉車両貸出 184回

○社会福祉大会

社会福祉の向上に多大な貢献をされた方や団体を表彰し、社会福祉の啓発を図りました。

生活相談支援

○地域福祉権利擁護事業

市民の福祉に対する意識の向上を目指して講演会を開催するとともに、福祉作文の表彰及び発表、ボランティア活動の発表、各種福祉関係の展示を行いました。

○ワークキャンプ支援事業

限界集落での地域課題緩和を目的として、若年層ボランティアによる地域活動の参加を企画し、地域課題に対する認識と地域住民との交流を深めました。

○成年後見事業

判断能力が不十分で、法律行為等について自己の判断で適切に行うことが困難な方を、本会が成年後見人、補助人となることにより利用者本人の権利擁護に努めました。

○よろず相談事業

広く地域住民の日常生活の悩みや心配ごとに対して適切な情報の提供を行い、生活の安定を図れるよう努めました。

○生活福祉資金等の貸付事業

低所得世帯等を対象に、生活福祉資金を貸し付けることにより当該世帯の安定と経済的自立の推進に努めました。

☆生活福祉資金貸付事業

☆たすけあい資金貸付事業

☆緊急食糧給付事業

ボランティア支援

○ボランティアセンター事業

ボランティア活動を支援し住民参画による地域福祉の推進を図りました。地域住民が幅広くボランティア活動に参加できるよう、活動に関する相談、情報・資料の提供、講座の開催やボランティア活動に対する啓発に努めました。

○福祉教育支援事業

市内の学校との連携を基盤として、福祉への理解と関心を深め、思いやりの心を育てるため児童・生徒が身近にボランティア活動や福祉活動に取り組める福祉教育の推進に努めました。

地域介護支援

○生活機能低下予防事業

介護が必要となることが心配される高齢者に対し、定期的な外出の機会をもつことで閉じこもりを予防し、心身の運動機能の向上を目的としたレクリエーション等を実施し介護予防に努めました。

○転倒予防事業

介護が必要となることが心配される高齢者に対し、特に下肢

の運動機能向上を図ることにより、要介護状態への移行防止に取り組みました。



○介護あんしん窓口事業

在宅で、介護等を必要とする高齢者やその家族に対して、総合的な相談に応じ在宅での生活を支援します。

在宅介護サービス

介護保険制度や障害者自立支援法による在宅サービスの提供を行いました。

☆居宅介護支援事業

☆通所介護事業（デイサービス）

☆訪問介護事業（ホームヘルプ）

☆訪問入浴介護事業

☆地域密着型介護事業

福祉施設の管理運営

福祉施設を地域福祉の事業の拠点として管理業務を行いました。

地域を支える人たち

西浅井町集福寺自治会が行われている「防災・福祉マップ」の取り組みについてお話を聞きました。

西浅井町の山のふもとにある集福寺自治会、人口184人、51世帯、高齢者が多い地域です。

いつ起こるか分からない災害、特に高齢者やしょうがい者のいる家では、家族のいない昼間に災害にあったら・・・と不安や心配は尽きません。でも、地域でたすけあう仕組みが出来ていたら、いざという時も安心です。

集福寺自治会では4年前から「防災・福祉マップ」作りに取り組まれています。

災害が起きた場合、避難をスムーズに行うため、高齢者やしょうがい者の支援者をあらかじめ決めておき、普段から見守りが行えるというものです。



『普段のつながりをいざという時に活かす』

なぜこのような取り組みを始められたのですか？

下村防災・福祉委員長

集福寺自治会には外に通じる道が一本しかなく、

大雨や地震

などの災害

で道が遮断

されると助

けが来れな

くなってい

まうという

ことが考え

られたから

です。実際



取り組みの状況はどうですか？

下村防災・福祉委員長

集福寺では、「防災・福祉マップ」(※1)を制作しています。現在、要援護者46名、その人たちが支援する人が20名います。支援者は要援護者の近所に住んでいて、平日の昼間も家にいる人たちです。

に昔大雨があった時に、道がふさがれて助け来るまでにみんなが困ったという話がありましたので、助け合いの取り組みをしたほうがいいなということから始めました。



要援護者や支援者を決めるのは、線引きが難しいと思うのですが、どのようにして決められたのですか？

また、誰が誰を支援するかということを決めるのも簡単ではないと思うのですがどのように決められたのですか？

下村防災・福祉委員長

自治会のことをよく把握している、自治会の役員、老人会、婦人会、消防団、民生委員やサロンの世話役に集まってもらい、自治会内で助けが必要な人(要援護者)はどのような人か、という話し合いをして決めました。また、助けが欲しい方自ら手を挙げてもらったりもしています。そして、その方(要援護者)を支援してもらうのは誰がいいかを話し合い、支援者を決めました。普段から「つながり」がある人同士をつなげてもらったので、要援護者の方も支援者の方も安心感があると思います。支援者の方には自治会から依頼という形を取り、了解してもらっています。



救命救急講座



委員会の活動としては、どのような事をされていますか？

下村防災・福祉委員長

マップに関わる情報の更新や、いざという時や普段の取り組みをさらに良くするための話し合い、自治会と連携して避難訓練時にマップを活用した取り組みを行ったり、支援者のフォローを目的に、車イス体験や救急救命講習会などを実施して、いざという時のために備えてもらっています。

森中自治会長

やはりこういう講習を受けることによって、もしも何かあったときに対処できますし、支援する側もされる側も安心されると思います。自治会の防災についても、色々な意見を出してもらっています。



いざという時は何が起こるか分からないと思いますが、要援護者、支援者の方の決めごとなどはありますか？



防災・福祉マップ更新作業

下村防災・福祉委員長

支援者の方は、いざという時、まずは自分、そして身内の方の安否確認等が取れた後、それに続けて、要援護者の方の安否を確認してもらうという話をしています。出来る限りのことは（支援者の）みなさんしていただけたらと思いますが、要援護者の方にも、責任を持って助けるということではないということは説明させてもらっています。

支援者はいざという時の安否確認だけではありません、普段の見守りもされています。要援護者と支援者の方にもお話を聞きました。

『出来る時に頑張る』

古川さんが支援しているのは高齢者の長尾さん御夫妻です

古川支援員

毎日（自宅の）窓から様子を見たりして、灯りが見えると「今日も元氣やな」と安心してます。

長尾さん御夫妻

救急車のお世話とかに出来るだけなんふうに過ごしたいと思っています。



防災・福祉マップの取り組みはどうですか？

長尾さん御夫妻

村（自治会）のみなさんも、この子（古川支援員）らも良くして下さいますから、安心してます。

古川支援員

いつかは自分も助けが必要な身になるんやなと思って、出来る時に頑張らしてもらおかなと思っています。



古川支援員(右)と長尾さん御夫妻

『10年後の自治会のために』



人と人との“つながり”を創る、このような取り組みというのは今後とても大切なものになりそうですね。

下村防災・福祉委員長

そうですね、人口減少や高齢化が進む中で、10年後の自治会が先細りするのではなく、より良いものになればいいなということを願っています。

普段の見守り、支え合いがいざという時に活かされる、命につながる大切な活動でした。

※1・・・防災・福祉マップとは

防災と福祉を目的とし、いざという時の避難支援や普段の見守り活動のつながり、人的資源、物的資源を「見える化」したものの。

おすすめでまえこうぎ の お知らせ

出前講座

福祉に関心を深めていただくためのきっかけの一つとして、自治会や子ども会、地区社協の活動の取り組みに活用しませんか。



電話で申込み
ください
TEL 74-8200

回想法
*昔の話をしよう

レクリエーション

災害
ボランティア
の話

ボランティアセンター
出前講座号



視覚しょうがい体験

高齢者体験

ボランティア

車いす体験

体験やお話の方法は依頼された方の相談に応じさせていただきますので、お電話くださいね。

長浜市長浜ボランティア連絡協議会

研修

- ①長浜高校ボランティア部と
連絡協議会の交流会
(7月17日13時から)



協力

- ①共同募金啓発(10月)
②ふれあい電話(通年)

上記の事業は長い間継続して実施しています。

今年は昨年、被災地へボランティア活動に参加したことつなげて「被災者の話を聞く」ことを計画いたしました。

「被災者の話を聞く会」 講師:吉川 裕子氏

日程:8月25日(土)
13時30分~15時30分
場所:市民交流センター



今回、多くの方に聞いていただきたいと考えておりますので、ぜひ連協会員以外の方もご参加ください。お待ちしております。

詳しくは、ボランティアセンターまで

湖北ボランティア連絡協議会

- ボランティア交流会の開催(年2回)
湖北ボランティア連絡協議会加入グループ相互の交流と情報交換会
- ボランティア研修会(勉強会)の開催
(2月頃を予定)
認知症についての理解を深める勉強会
- 広報誌の発行(年2回)
8月および3月に広報誌の発行を予定しています。
- 傾聴ボランティア活動 昨年開催した傾聴ボランティア講座受講者により月に1回程度、湖北地区内のデイサービスや施設などを訪問し、利用者との交流を深めつつ、傾聴ボランティア活動を実施・傾聴ボランティア交流会を開催
- 赤い羽根共同募金の街頭啓発活動に協力
湖北ボランティア連絡協議会として街頭啓発および募金活動に協力します。



虎岨ボランティア連絡協議会



ボランティアの 輪を 広げよう



毎年の一大会事はボランティア交流会です。お互いの活動を知り学ぶために交流会を開催しています。昨年度は敬老会を開催して欲しいとの声に応えて、小地域サロンのみなさんを招いて「ボランティアふれあい祭り」を行いました。180名もの参加があり、「良かった、楽しかった」と声が寄せられました。ふれあい祭りでも、グループ員募集の訴えがありましたが、会員減少に悩むボランティアグループが多いのが現状です。ボランティアの輪を広げ地域福祉の向上のために力を合わせて頑張っていきます。

高月地区ボランティア連絡協議会

グループの“わ” 広げよう人の“わ”

現在10のグループが加入し活動しています。昨年はびわのボランティア連絡協議会と交流会、一昨年は栗東市ボランティア・市民活動支援センターとの交流研修会を開催し、グループの情報交換会をしました。どのグループもパワーあふれる活動をされており、大変刺激を受け、気持ちも新たに次の活動につなげていきたいと感じる交流会でした。今年度は7月2日から3回コースで防災ずきん作り講座を開催しました。この講座をきっかけに“ボランティア”の輪を広げていきたいと思っています。



長浜市社会福祉協議会
ボランティアセンター便り

No.25

えくすてんど ひろがり



「えくすてんど」の持つ意味は“ひろがり”、ボランティアの活動や思いが広がっていくことを願い、情報紙は「えくすてんど」と名づけました。この「えくすてんど」は年間12回発行しています。年4回は社協だよりとして全戸配布、あとの8回は回覧で皆様のお手元に届けております。これからもボランティアの情報や講座などのお知らせを「えくすてんど」の情報紙で行いますので、お手元に届きましたらぜひ「えくすてんど」を御覧くださいませようお願いいたします。（^ー^）

長浜市内には、7つのボランティア連絡協議会があります。
今回は、各ボランティア連絡協議会をご紹介します。

木之本町ボランティア連絡協議会

木之本町ボランティア連絡協議会では、ボランティア同士の横のつながり、ボランティア活動の理解と関心を深めることを目的に、研修会や勉強会、地域に根ざしたボランティア活動を行っています。

（主な活動内容）

- ★定例会・・・年に2回程日頃のボランティア活動の情報交換を行っています。
- ★交流会・・・年に数回ボランティア活動の向上を目指し交流を図ります。
- ★研修会・・・年に1回程ボランティア活動のスキルアップを目的に研修を行っています。
- ★その他・・・地域の文化祭への参加、地域の施設等の除草作業、地区社協事業への参画など、地域を拠点とした活動に参加しています。



一緒に活動してくださる
ボランティアさん
お待ちしております。

※昨年の交流会の様子

長浜市内の ボランティア 連絡協議会の 紹介

各協議会共通して、地域事業や、ボランティアの研修、啓発を活発的に実施されています。（余呉地区と西浅井地区は設置予定）所属されておられないボランティアグループの方は加入されませんか？

詳しくは、ボランティアセンターへ問い合わせね！

長浜市浅井ボランティア 連絡協議会

テーマ「あの日の3.11を忘れない」
会員研修として

- ①「住み慣れた地域で暮らすために」（6月7日）
- ②防災未来センターで学ぶ。（10月30日予定）

啓発活動として

- ①福祉まつり（10月13日予定）

＊不要になった使えるものを募集しています
ボランティアセンターまでお問合せください
ご参加、ご協力をお願いします。

昨年の大震災を忘れないで、この市に住み、今できる事、これから考えなくてはいけないことや、ボランティアとしてできる事を考えながら、進めていきたいと考えています。



びわボランティア連絡協議会

びわボランティア連絡協議会では、現在7団体と個人2名が登録しております。活動内容は、他のボランティア連絡協議会と交流会を行い、昨年度は高月ボランティア連絡協議会と交流し活動発表や意見交換会を行いました。

また、研修会として日頃のボランティア活動の中に取り入れられるような研修を企画し、昨年度は腹話術を学びました。

びわ地区内のボランティアが活発に行われるような事業を行っています。



インフォメーション

地域福祉活動計画策定委員を募集します

長浜市社協の地域福祉活動計画の全体の協議、決定に関わっていただける方を2名募集します。

<応募資格>

- (1)年齢満20歳以上の者（平成24年4月1日現在）
- (2)長浜市内に居住又は通勤、通学している者
- (3)地域福祉活動計画策定に積極的に取り組んでいただくことが出来る者
- (4)委員会（年間3～4回）に出席が可能な者

<選考方法>

地域福祉の推進に関する小論文等を提出していただき、必要に応じて面接により判断します。

<策定委員の任期>

活動計画完成まで

<募集期間>

平成24年7月15日～平成24年7月31日

<応募についてのお問い合わせ>

長浜市社会福祉協議会まで TEL 62-1804

「ながはま冒険遊び場」に遊びに来ませんか！

毎月第3土曜日に豊公園にて、冒険遊び場が開催されています。

冒険遊び場とは「自分の責任で自由に遊ぶ、ケガと弁当は自分持ち」をモットーにした子どもが「遊び」をつくる遊び場です。

参加申込は不要です。一度遊びにきませんか？

◎開催日時：毎月第3土曜日

午前10時～午後3時頃まで

◎開催場所：豊公園内

◎主催：ながはま冒険遊び場つくりの会

nagahama_asobiba@yahoo.co.jp



ながはま冒険遊び場のブログで

日頃の活動の様子が見られます！

<http://nagahamaasobiba.shiga-saku.net/>

ながはま冒険遊び場 検索 クリック

長浜市社会福祉協議会 (嘱託職員) 募集のお知らせ

【募集内容】

(1) 介護支援専門員(ケアマネジャー)

- 募集人員・・・1名
- 必要資格・・・介護支援専門員
- 採用月日・・・随時
- 勤務日・・・月曜～金曜（休日出勤の場合有り）
午前8時30分～午後5時15分

(2) デイサービスセンター 看護職員兼介護職員

- 募集人員・・・1名
- 必要資格・・・看護師または准看護師
- 採用月日・・・随時
- 勤務日・・・月曜～土曜（シフト制）
午前8時00分～午後6時00分以内で
※シフトによる変形労働時間制

【お問い合わせ】長浜市社会福祉協議会総務課

TEL 62-1806

滋賀県立視覚障害者センター 視覚障害者社会参加促進事業

「音楽療法」開催案内

1) 目的

- ・視覚に障害のある方向士が出会い交流することで、社会参加のきっかけ作りを行います。
- ・音楽療法では、ひとりひとりが様々な楽器を鳴らし、参加者全員で共鳴させながらひとつの音楽を奏でていくことで、違う個性を持つ人々が協働し合うことができることと、その楽しさを体験します。また、季節の歌を歌い、心身の健康作りをします。

2) 内容

いろいろな楽器を使った音づくり。
季節の歌を歌う。（歌詞の読み上げを聴きながら、見えない・見えにくい方も一緒に歌うことができます。）

3) 日時

平成24年7月27日（金） 10時～12時

4) 場所

長浜市社会福祉センター2階（長浜市高田町12-34）

5) 講師 辻 利美子さん

（音楽療法士、NPO法人音楽療法の会さざなみ）

6) 対象 視覚に障害のある方

7) 参加費 無料

◎参加希望の方は、下記へお申込みください。

【申込先】 滋賀県立視覚障害者センター

〒522-0002 彦根市松原1丁目12-17

TEL 0749-22-7901（小寺）

「太鼓判の家」でおなじみの

総合建設 株式会社 大塚工務店

太鼓判の家展示場 526-0065 滋賀県長浜市公園町2-19番地 TEL 0749-63-0048

本社 526-0031 滋賀県長浜市八幡東町40番地 TEL 0749-63-4520

HP 大塚工務店 E-mail info@o-tuka.com

取扱い物件：官公庁・商業施設・工場・集合住宅・戸建住宅



地域のまちづくりに取り組んでいます

♡ポイントを集めてステキな特典

加盟店でお買いあげ100円 ➡ ポイントは加盟店でお買物にご利用できます!!
ことに1ポイントにつき ➡ 1000ポイントで1000円の現金に交換します!!

♡国内初!!住民基本台帳カードにシュッセカード機能をプラス 特典いろいろ、楽しいいろいろ。

シュッセカード
SUCCESS CARD
加盟店 長浜商店街連盟
会 員 募集 長浜倶楽部 62-0500



レーク伊吹農業協同組合

琵琶湖と伊吹山に囲まれたJAレーク伊吹は、
人と自然と街を愛で優しく包みます。



〒521-0062 滋賀県米原市宇賀野280番地1

TEL: 0749-52-6520(代) <http://www.lakeibuki.jas.or.jp>

善意銀行

平成24年4月27日～平成24年6月26日

金銭口座

(敬称略)

氏名	金額(円)
・長浜市 GG 協会	14,700
・藤田治彦	1,000
・松井和典	10,000
・(株)茶真商店	1,000
・たこ焼 八船	5,000
・源希倶楽部 徳田智史	5,000
・伊香支部グラウンドゴルフ協会	4,400
・(株)明豊建設 安全衛生協力会	118,000
・ワークマン長浜店	6,656
・匿名(4件)	252,112

物品口座

氏名	
・よつば会	布絵本「ばけばけコンテスト」
・中島広哉	米120kg
・広瀬ボランティア	手作り雑巾
・田畑幸美	雑巾
・清水繁応	電動マージャン台、マージャンパイ
・匿名	グラウンドゴルフパター1本 ボール2個
・匿名	毛布、衣類など
・匿名	カキ氷機1台
・匿名	衣類
・匿名	CD20枚
・匿名	洗濯洗剤5箱
・匿名	掛け布団3枚
・匿名	肌着、レトルト食品、ぬれタオル

古切手・ベルマーク・使用済テレホンカード・ペットボトルキャップ・プルトップ

氏名	
・JA北びわこ女性部	・特非) みらい
・(有)ベルレコード企画	・市役所人事課
・(有)長浜葬祭 ソニアホール	・小山法律事務所
・長浜キヤノン(株)	・香水和子
・国際ソロプチミスト長浜	・(株)シガウッド
・(株)滋賀銀行 木之本支店	・SK メディカル電子(株)
・松波商会(有)	・おくだ医院
・川一電機(株)	・トップ事務機(株)
・長浜梅香保育園	・大栄工機(株)
・(株)モミヤマモータース	・山田知子
・(株)茶真商店	・中島一枝
・根岸直美	・(有)三栄工務店
・(株)滋賀銀行 長浜支店	・喜田
・よしきさん	・匿名(1件)
・竹中食品	
・北郷里つくし会	
・長浜第一地区民生委員児童委員協議会	

みなさまの温かい思いにお応えし、地域福祉のために活用させていただきます。ありがとうございました。

近年、大切な方を亡くされた方々から、「香典返しにかえて寄付したい」という声が聞かれます。

長浜市社会福祉協議会では、このような社会貢献活動についてご相談を承っております。

東日本大震災義援金ご協力ありがとうございました

(平成24年4月27日～平成24年6月20日)

受付日	名前	金額	受付日	名前	金額
平成24年5月1日	落川自治会	8,000	5月17日	びわ湖長浜ツーデーマーチ実行委員会	7,564
5月2日	タックルベリー長浜店	11,000	6月11日	東高田自治会	2,376
5月7日	富岡自動車有限会社	7,660	4月27日～6月20日	匿名(1件)	100,000
5月16日	(株)長浜まちの駅	64,374			

(順不同・敬称略)

義援金総額 243,275,965 円

地元の繁栄に奉仕する長浜金融協議会

大垣共立銀行
滋賀銀行
長浜信用金庫
関西アーバン銀行

わたしたちは、未来に大切な「人・自然・地域・組織」を創造します。

Step by Step
一歩一歩 着実に



JA 北びわこイメージキャラクター

“ゆめまる”

北びわこ農業協同組合

〒529-0341
滋賀県長浜市湖北町速水 2721 番地
TEL. 0749-78-2400 (代)
FAX. 0749-78-2420
http://www.jakitabiwako.jp
E-mail: soumu@kitabiwako.jas.or.jp

地区活動紹介

神田地区

身近な地域の助け合い「かんだサポート会」

住みやすい快適な「わがまち」にするため、暮らしの中の困りごとや不安なことを住民同士が助け合う仕組みを作りたく、地域福祉の原点である「住民の気持ち調査」から始めようと、全住民に次のアンケートを実施しました。

①日常生活で困っていること（援助してほしいこと）

②こんなことなら私にもできる（してあげたいこと）

すると、多くの反響があり、してあげたいこととして84名の方々が登録してくださいました。

「かんだサポート会」はまだ発足したばかりで、マッチングの仕組みづくりはこれからですが、無理をしない、できる範囲でできることからを基本としながら、住民のご好意をぜひ形として活かしていきたいと思っています。



【お問い合わせ】神田地区社会福祉協議会 TEL 62-7037（神田公民館内）

高月地区

健康ウォーキング大会

高月地区では、高月地区社会福祉協議会と長浜市老人クラブ連合会高月支部、地域づくり協議会の共催で健康ウォーキング大会を開催し、117名が参加されました。

当日は高月運動広場を10時に出発。唐川の1本杉、ゆるぎ山山頂、赤後寺を巡る5キロ余りの距離を歩き、さわやかな汗を流しました。



【お問い合わせ】

高月地区社会福祉協議会 TEL85-5700
（長浜市社協高月支所内）

木之本地区

「ちびっこ広場」

木之本地区では、親子のふれあい、地域との交流を目的にちびっこ広場を開催しています。ちびっこ広場には、就学前のお子さん、保護者のみなさん、お孫さんと一緒におじいちゃん、おばあちゃんが参



加されています。6月2日（土）には、就学前の親子さんを対象におやつ作りを開催しました。

手作りみたらし団子、お絵描きパンケーキなど子どもさん大喜びのメニューにお腹もいっぱい、楽しい時間をすごされました。

夏には、「水遊び」、秋には「芋掘り」を予定しています。

民生委員さん、ボランティアさんと一緒に、笑顔いっぱいのちびっこ広場へのご参加、お待ちしております。

【お問い合わせ】

木之本福祉の会 TEL82-5419
（長浜市社協木之本支所内）

ワ ボ ウ 電 子 (株)
株 渡 辺 工 業
ヤ 小 形 エ ン ジ ン 事 業 本 部 (株)
三 菱 樹 脂 (株) 長 浜 工 場
兵 神 装 備 (株) 滋 賀 事 業 所
日 本 電 気 硝 子 (株)
滋 賀 高 月 事 業 場
長 浜 キ ヤ ノ ン (株)
高 橋 金 属 (株)
新 江 州 (株)
滋 賀 日 軽 (株)
江 洲 産 業 (株)
協 和 工 業 (株) 長 浜 工 場
大 塚 産 業 マ テ リ ア ル (株)
近 江 ベ ル ベ ッ ト (株)
近 江 化 学 工 業 (株)
エ ル ナ ー (株) 滋 賀 事 業 所

長 浜 市 高 田 町 10 番 1 号
(長 浜 商 工 会 議 所 内)

長 浜 工 業 会